

当社の記事が『日経産業新聞(2014.3.11)』に掲載されました。

「燃料電池自動車(FCEV)の発売で水素市場は急成長する」。岩手県宮古市で2月下旬に開かれた復興事業「宮古市ブルーチャレンジプロジェクト」の説明会。地元関係者らは事務局の説明を熱心に聞き入った。

同事業は水素エネルギーを中心に地域振興を目指すもので、トヨタ自動車や三井化学など17の企業・団体が推進する。事業の中核となるのがベンチャー企業のジャパンプルーエナジー(東京・千代田)が開発した水素製造プラントだ。

「ブルータワー」と呼ばれる装置は木材などバイオマスを熱して可燃性ガスに変換する。宮古市では地元業者から間伐材など未利用木材を調達。ガスをエンジンで燃やして電気と熱を得るほか、水素に改質してFCEVや燃料電池に供給する。

記事抜粋

2014.3.11 日経産業新聞

## 震災3年 リスタートの息吹

宮城 藻類からバイオ燃料 再生エネのトウホクへ

被災地の主な再生可能エネルギー事業

- 宮城県石巻市: 藻類バイオマス、スノーブジャパン
- 岩手県久慈市: 波力発電、東大
- 岩手県宮古市: 水素製造、トヨタ、三井化学
- 宮城県塩釜市: 潮流発電、東大
- 仙台市: 藻類バイオマス、仙台市、筑波大
- 福島県南相馬市: 太陽光発電、東芝
- 福島県楢葉町: 洋上風力発電、丸紅、三菱重工業
- 福島県郡山市: 再生エネ研究拠点、産総研
- 福島県磐前町: 地熱発電
- 福島県磐南町: 出光興産、国際石油開発帝石
- 福島県いわき市: 再生エネ研究拠点
- 福島県いわき市: 再生エネ研究拠点
- 福島県いわき市: 再生エネ研究拠点

「液体の中には1cc当たり1億個以上の藻類細胞が長い東北の太平洋沖を漂っています。藻類の培養を手掛けるスノーブジャパン(宮城県石巻市)は食品原料として販売。ギアの革命が起きようとの原研道社長は説明する。同社は藻類の研究が向上させ、5年後にはバイオ燃料を生産を目指す。藻類の生産を目的として、昨年7月に約3億6千万円を投じた「エネルギー基地」を宮古市で2月下旬に開かれた復興事業「宮古市ブルーチャレンジプロジェクト」を説明した。

「燃料電池自動車(FCEV)の発売で水素市場は急成長する」。岩手県宮古市で2月下旬に開かれた復興事業「宮古市ブルーチャレンジプロジェクト」の説明会。地元関係者らは事務局の説明を熱心に聞き入った。

### 木材から水素製造 トヨタなど

「ブルータワー」と呼ばれる装置は木材などバイオマスを熱して可燃性ガスに変換する。宮古市では地元業者から間伐材など未利用木材を調達。ガスをエンジンで燃やして電気と熱を得るほか、水素に改質してFCEVや燃料電池に供給する。

「燃料電池自動車(FCEV)の発売で水素市場は急成長する」。岩手県宮古市で2月下旬に開かれた復興事業「宮古市ブルーチャレンジプロジェクト」の説明会。地元関係者らは事務局の説明を熱心に聞き入った。

同事業は水素エネルギーを中心に地域振興を目指すもので、トヨタ自動車や三井化学など17の企業・団体が推進する。事業の中核となるのがベンチャー企業のジャパンプルーエナジー(東京・千代田)が開発した水素製造プラントだ。

「ブルータワー」と呼ばれる装置は木材などバイオマスを熱して可燃性ガスに変換する。宮古市では地元業者から間伐材など未利用木材を調達。ガスをエンジンで燃やして電気と熱を得るほか、水素に改質してFCEVや燃料電池に供給する。

当社は“先進・独自の技術をもって新しい価値を創造し、豊かで快適な社会、環境の実現”に向けて積極的な活動を進めてまいります。

＜お問合せ先＞

◆ リリースに関するお問い合わせ先  
 株式会社ジャパンプルーエナジー 事業企画推進部  
 TEL:03-3234-1551 FAX:03-3239-3240 Email: [soumu@jbec.jp](mailto:soumu@jbec.jp)